

2025 年 4 月 30 日

通貨ニュース

BRICS: BRICS 外相会合レビュー～共同 声明採択を見送り～

～BRICS 外相会合を振り返る～

4 月 28～29 日の日程で、ブラジルのリオデジャネイロで BRICS の外相会合が開催された。米関税政策への対応策について議論があるとされていたので、注目度はそれなりに高かった。本欄は外相会合の顛末を振り返りたい。

結果として、期待された共同声明の採択は見送られた。マウロヴィエイラ・ブラジル外務大臣のコメントを踏まえる限り、米国の保護主義に対する批判姿勢では各国が合意に達したものの、国連安保理の非常任理事国選出に関する議論が紛糾した模様だ。7 月には BRICS 首脳会議が予定されており、共同声明も持ち越しになったとのことである。

米関税政策に対するスタンスは、ホスト国であるヴィエイラ・ブラジル外務大臣による会合冒頭における会見発言が参考になる。以下に、主要なコメントをまとめた。

「私たちは、紛争の代わりに外交を、単独行動主義の代わりに協力を擁護する」

「BRICS は誰に対しても、他のブロックに対しても、他の国に対しても反対しているわけではない。BRICS は各国を団結させ、いわゆる"グローバル・サウス"の発展を促進することに賛成している」

「多国間主義の擁護は、国連や WTO といった組織の維持に直結している」

具体的に明言はしていないものの、米トランプ政権の各種政策を念頭に置いた発言であることは間違いない。本来は新興国に対し市場開放・自由貿易などを要求してきたはずの米国が、BRICS にこのような批判を受けることは非常に皮肉である。もっとも、共同声明採択が見送られたことからわかる通り、BRICS と一枚岩とは言えない。特に、加盟国が増えた以上、全体としてのプレゼンスが高まった反面、内部での意思統一は今後も難航することは想像に容易い。

～新興国の脱ドル化とトランプ政策～

なお、筆者は毎年の BRICS 首脳会議を必ず確認してきたが、近年の注目点は"脱ドル化"である。既報の通り、トランプ氏は新興国のドル離れに対し神経質である。例えば 1 月末、「新たな BRICS 通貨を創設せず、また強力な米ドルに代わる他の通貨を支持しないという約束を求める。さもなければ、100%の関税に直面することになるだろう」と SNS に投稿した。ここで言及されている"BRICS 通貨"は BRICS 共通通貨構想を指しているのだが、毎年の BRICS 首脳会議を確認している筆者からすれば、その実現可能性は限りなくゼロに近い。ヴィエイラ・ブラジル外務大臣も、「新しい通貨に取って代わったり、作ったりするプロジェクトはない。より低いコストで取引を行うことだけに興味がある」と述べている。

国際為替部

マーケット・エコノミスト

長谷川 久悟

03-3242-7065

kyugo.hasegawa@mizuho-bk.co.jp

逆説的に言えば、論理的に考えて起こりえない事象に対し過剰な反応を示している以上、トランプ氏にとってドルの基軸通貨性の維持は至上命題なのだろう。この点は、今後も米政権のアキレス腱になりうる。

今回の外相会合では、通貨は議題の中心ではなかった。ただし、各種報道によれば、貿易や金融取引における自国通貨の利用を促進することが支持されたようだ。この流れは近年のトレンドであって、特段驚きはない。"BRICS 共通通貨"は絵に描いた餅だが、現地通貨の利用拡大やそれに伴うドル離れは既に起きている。例えば、セルゲイ・ラヴロフ露外務大臣は 28 日、ロシアと BRICS 諸国との貿易における自国通貨利用のシェアが、2024 年末までに 90%に達したと述べた。西側の決済システム(SWIFT)から除外されたロシアが経済活動を継続できているという事実は、重要である。

現状、ドルに代わる基軸通貨、あるいは米国債に匹敵する安全資産が他の国・地域から出る見込みはないが、その地位は決して未来永劫約束されたものではない。むしろ、米国が現在のような身勝手な態度を続ければ、ドルの基軸通貨性や米国債の安全資産性は毀損される可能性が高い。現在、トランプ氏は BRICS に対し批判姿勢をそれほど示していないが、おそらく BRICS 首脳会議前後には何かしらの反応が期待できるだろう。最終的にはトランプ氏はドルの基軸通貨性を捨てきれず、関税政策などで融和方向に舵を切ることになると想定される。ただし、面子を気にする現政権の特性に鑑みれば、そう単純にはなるまい。BRICS のような第三世界連合においては、ドルの基軸通貨性のある種の人質にしつつ、米国の面子も気にかけながら、米政策の方針転換を促す役割を期待したい。加盟国やパートナー国の拡大を考慮に入れば、それを成しうるだけの発言力は身に着けつつあるだろう。

※現在の BRICS 加盟国は、首脳会談および外相会談に際し立ち上げられた公式サイトによれば、「ブラジル」「中国」「エジプト」「エチオピア」「インド」「インドネシア」「イラン」「ロシア」「サウジアラビア」「南アフリカ」「UAE」の 11 か国である

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。